

とうこう げこうちゅう じしんはっせい 登校・下校中に地震発生！

四箇郷小学校／校長：上田 仁

まずはガラスやブロック塀… 上や横からのものに注意

ゆれによって上から落ちてくるものや、自分の方向に向かって倒れてくるものがないか、あたりを見回して注意します。落ちてくると予想されるのは電線、家の屋根瓦、割れたガラスなどです。自分の背より高い位置にあるブロック塀や家の壁にも注意が必要です。

また「倒れるわけがない」とみなさんが思いこんでいるのが自動販売機や電柱です。車も大きな揺れで移動してくる場合があります。倒れてくる、移動してくる危険性があることを覚えておいて、そばを離れるようにしましょう。

次に自分の頭を守ること

持っているものや背負っているもので頭を守りましょう。

和歌山県教育委員会の「学校における防災教育・安全指針」（平成26年3月）では、災害発生時における小学校での目標が明記されています。

■低学年（1・2年生）の目標

災害に関心を持ち、災害発生時に近くの人に連絡したり、一緒に避難してもらえよう声をかけるなど、適切な行動ができるようにする。

■中学年（3・4年生）の目標

災害について基本的な理解ができ、自ら安全な行動ができるようにするとともに、周囲の人と協力して危険を回避できるようにする。

■高学年（5・6年生）の目標

災害の危険を理解し、自ら安全な行動ができるようにするとともに、自分の安全だけでなく他の人々の安全にも気配りができるようにする。また、「自助」と「共助」の意味や大切さを理解できるようにする。

そして

- 1・2年生は、近くの大人などに声をかけ、助けを求めようようにお願いをしましょう。
- 3・4年生は、まずは自分の命を守るようにし、周りの人や様子を見ながら一緒に動きましょう。
- 5・6年生は、自分の命とともに他の小さい子たちのことも考えて行動しましょう。

お家の方へ…

日頃から安全な場所を、親子でチェックしておいてはどうでしょうか。

たとえば歩いているときに、「今地震がきたらどうする？」などとお子様に語りかけ、避難場所を一緒に確認します。家と学校間の距離がそう離れていない場合は、「ここまで来たときに地震が起きたら家（学校）に避難してね」など、避難場所の区切りを教えてあげるのも分かりやすいかと思います。登下校中、どの場所にも一人で判断できるように訓練しておく、お子様自身も安心できるはずですよ。

参考／登下校中に地震!? 子ども1人でも慌てないための地震対策

https://woman.excite.co.jp/article/child/rid_E1485759978150/